

報告

関東支部集会の報告

直井 雅文（埼玉県立浦和高等学校）

1. はじめに

さる6月19日(日), 埼玉県立浦和高等学校の麗和会館を会場に, 関東支部集会が行われた。33名の参加で, 4件の招待講演を含む12件の発表があり, 興味深い情報交換・協議を行うことができた。

2. テーマ

新学習指導要領が, 今年度から小学校で, 来年度から中学校で全面实施される。この件では, 昨夏の天文教育研究会の特別セッション「見えてきた新学習指導要領の実態」において, 様々な立場からの報告があり, 協議を行った。その中で, 小中学校に入った(戻ってきた)天文分野の指導についていろいろ苦慮していることや, 様々な工夫をしていることが分かった。しかし, 課題の共有と解決に向けた協議が十分にできたとはいえない状況であり, 「小中学校における天文教育の実態と課題」というテーマで情報交換・協議を行うことにした。

3. 内容

一般発表

「石垣島での星空観望会(石垣島天文台の一般観望会他)」 藤原 晴美

「天体観望会開催のための全国ネットワーク形成を目指して」 水野 孝雄

「高等学校の新しい教科書「地学基礎」における天文分野」

直井 雅文(埼玉県立浦和高等学校)

報告・紹介

「天文学宇宙検定について」

片岡 一成(株式会社 恒星社厚生閣)

「私たちにできること: 岩手県大槌町での観

望会の場合」

下部 展彦(国立天文台)

テーマに関する講演

「新学習指導要領の内容確認と小中学校を通して天文教育の実態と課題」

加藤 明良(さいたま市立慈恩寺中学校)

「小学校の天文教育の実態と課題」

吉岡 貴和(さいたま市青少年宇宙科学館)

「科学館の立場からの天文教育の実態と課題」

佐藤 俊夫(さいたま市立大宮別所小学校)

「教員養成の立場からの天文教育の実態と課題」 大朝 由美子(埼玉大学 教育学部)

テーマに関する発表

「ぐんま天文台が取り組む「天文授業サポート事業」

新井 寿(群馬県立ぐんま天文台)

「本校における天体観測の実績」

大島 修 (群馬県玉村町立南中学校)

「ひのでデータを活用した中学校での理科授業」 矢治 健太郎 (立教大学理学部)

テーマに関する協議

JST 理科教育支援センターからの「理科を教える小学校教員の養成に関する調査」に関する報告(2011年3月末)でも, 大学における理科専修でない学生の理科教育の不十分さが指摘され, 高校の理科教育での偏った履修も大きな影響があることがわかる。そこで, 現状ではどのような支援(観望会等)や教員研修(望遠鏡の操作等)が必要なのか, 今後も検討が必要である。

直井 雅文